

市民と語る会

9月28日木曜日、花輪中学校において2年部「はなふる未来グループ」のみなさんと市民と語る会を実施しました。第一部では、5つのグループがそれぞれ鹿角市の課題を抽出し、その解決に向けた方策について市議会議員がプレゼンテーションを受けました。また、第二部では、第一部の提案を踏まえ鹿角市を活性化させる意見をお互いに出し合い、まとめたものを発表しました。

「人口を増やすためには」



- ・移住に向けた関係人口を増やすため、豊かな自然を生かした四季の魅力を伝えるイベントを行う。
- ・子育て支援としてボランティアなどを募り育児をサポートする仕組みづくりを行う。

「鹿角の施設の少なさについて」



- ・土地活用としての収益性が高い老人ホームを建設し、介護ロボットの導入により労働力を確保する。
- ・不登校の児童生徒のために、学校や家庭以外でリラックスできる居場所を提供する。

「動物との共存について」



- ツキノワグマの被害を防止するために、1. 熊にGPSを取り付ける。2. トウガラシなどの忌避剤をまく。3. 熊の俊敏さを実感するために競争してみる。4. 熊よけの装置「くまドン」を設置する。

「鹿角の流行遅れについて」



- ・他の中学校との交流により流行を生み出す。
- ・茜染めや紫根染めなど鹿角市の伝統工芸などの情報をSNSを活用し、ショプロン市（ハンガリー）などの姉妹都市などへ向けて発信する。

「鹿角市のPR不足について」



北限の桃やかぶの牛などの特産品を活用したPRを行うため、収穫体験や特産品を購入できるスポットを紹介するほか、YouTubeとコラボレーションして、特産品を使ったオリジナルレシピなどを開発する。



当日の詳しい様子は、こちらのQRコードからもアクセスいただけます。

市議会議員を交えて意見交換



鹿角を元気にするための意見として、中学生らしい自由な発想によるユニークなアイデアがたくさん出されました。

鹿角市議会では、今後の授業カリキュラムに合わせて生徒を市議会に招くなど、行政に興味を持ってもらえるような主権者教育を進め、関わり合いを深めていきます。また、その様子についても随時お知らせします。

編集後記

議会広報委員を務めて3年目となりました。今回から新たに「若者による地域活性化」に着目して特集記事を組んでいます。

一生懸命に物事に取り組む若者の姿は地域に元気を与えてくれます。私たちは、若者がそうした取り組みを安心して積極的に行うことができ、長き世代に引き継ぐといった一連の流れを循環させていくことが、郷土愛を育むために必要であると考えています。

(湯瀬弘充)

議会広報委員会
委員長 金澤 大輔
副委員長 湯瀬 弘充
委員 湯瀬 昌敏
委員 浅石 真司
委員 湯瀬 誠喜
委員 笹本 真司